

日本語及び日本事情

(選択2単位) 外国人留学生1年前期

吉村 綱*

授業テーマ・内容

選抜された日本語能力を基盤にして、実践的な場における日本語の対応力を高め身につけることを目的とする。日本の「歴史・文化」の学びを手がかりに「生活環境」「学生生活」「日常な生活習慣」などの観点から計画した項目を学ぶが、2点の課題を出す。

第1点目は自己紹介およびディスカッションである。外国のことばを学ぶとき、最大の「難点」と「収穫」は、留学生同士が、学ぶ外国語(日本語)で話し合うことにあるからである。第2点目は、日々経験する不明、理解困難な日本語をメモすることである。このメモは、毎時間報告しあい授業中の学びの材料とする。

これらをふまえて、大学周辺の環境、日本における位置、生活環境とことばの関係などを学び、知識として習得してきた日本語能力を実践的な日本語能力へと高めるため3〜4回生活する周辺を探訪する。

上記の事項に関して作成したレポートを評価の対象とする。

到達目標・ねらい

授業計画に示しているように、留学生には逐次的な語学教育としての日本語授業ではなく、日本の文化、歴史等に関わることを学び、実践的に日本語を用いることを目的として取り組んでもらう。その結果、大学を中心とした生活圏、地域との交流への関心を持ち育てることを到達目標とする。

授業計画

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス 授業概要と評価方法等について説明	本講義の目的と要点を説明。「採語ノート」作成の課題について説明	予)授業説明に記されているノートを準備 復)「採語ノート」作成
第2週	自己紹介と質疑応答①	留学の目的について	予)他者の自己紹介での使用語彙の確認 復)留学目的の具体的チェック
第3週	自己紹介と質疑応答②	「日本へ」の意図について	予)自国と他国の相違についての確認 復)日本の国についての質問を整理
第4週	日本の歴史とことば①	関西を軸にしての歴史認識とことば①	予)関西・大阪の地理上の把握を整理しておく。 復)生活の中で採録した関西の歴史上の事項を整理しておく。
第5週	日本の歴史とことば②	関西を軸にしての歴史認識とことば②	予)関西の歴史上の人物の復習 復)歴史の学びから得た文化について調べる。
第6週	日本の文化とことば①	関西文化圏とことば	予)関西・大阪弁の特質の整理 復)「採語ノート」への大阪弁の収集完了
第7週	日本の文化とことば②	日本文化の具体例として「相撲」の歴史を学ぶ	予)「相撲」を通して得た文化とことばをノートに整理 復)約2ヶ月近く過ごした生活圏を地図上で整理しておく。
第8週	生活地域の探訪①	自身の生活圏を知るために学外探訪① (公共機関場所、図書館、病院、商業施設、日本の大学見学等を4週にわたって)	予)生活上必要とする機関、施設をメモ 復)教授された期間、施設と交通網を復習
第9週	生活地域の探訪②	自身の生活圏を知るために学外探訪② (公共機関場所、図書館、病院、商業施設、日本の大学見学等を4週にわたって)	予)諸機関、施設への地理・交通機関・手続き上の質問整理① 復)生活圏の探訪で得た情報や知識の整理をする①
第10週	生活地域の探訪③	自身の生活圏を知るために学外探訪③ (公共機関場所、図書館、病院、商業施設、日本の大学見学等を4週にわたって)	予)諸機関、施設への地理・交通機関・手続き上の質問整理② 復)生活圏の探訪で得た情報や知識の整理をする②
第11週	生活地域の探訪④	自身の生活圏を知るために学外探訪④ (公共機関場所、図書館、病院、商業施設、日本の大学見学等を4週にわたって)	予)諸機関、施設への地理・交通機関・手続き上の質問整理③ 復)生活圏の探訪で得た情報や知識の整理をする③
第12週	メモからの学習①	課題の「採語ノート」をテキストにして、留学3か月間の日本語習得をチェックする①	予)「採語ノート」からの疑問を整理 復)各自に出された日本語チェックの整理①
第13週	メモからの学習②	課題の「採語ノート」をテキストにして、留学3か月間の日本語習得をチェックする②	予)「採語ノート」からの疑問を整理 復)各自に出された日本語チェックの整理②
第14週	レポートの書き方	テスト、課題レポートに備えての書式を学ぶ	予)レポート形式や文書形式の整理確認 復)指定の提出レポートを作成する。
第15週	日本語での手紙の書き方、書類の書き方	日本の慣習としての予備知識を学ぶ	予)前期の学び得た内容について質問事項を整理しておく。 復)生活圏のことば、文化、歴史を正しく修得しているかを再確認する。

成績評価の方法・評価基準

期末試験	—%	レポート	60%
中間試験	—%	演習課題	20%
小テスト	—%	平常点	20%

テキスト

必要なプリントは授業時に配布する。

参考書

履修条件・備考

留学生試験合格者に限る